

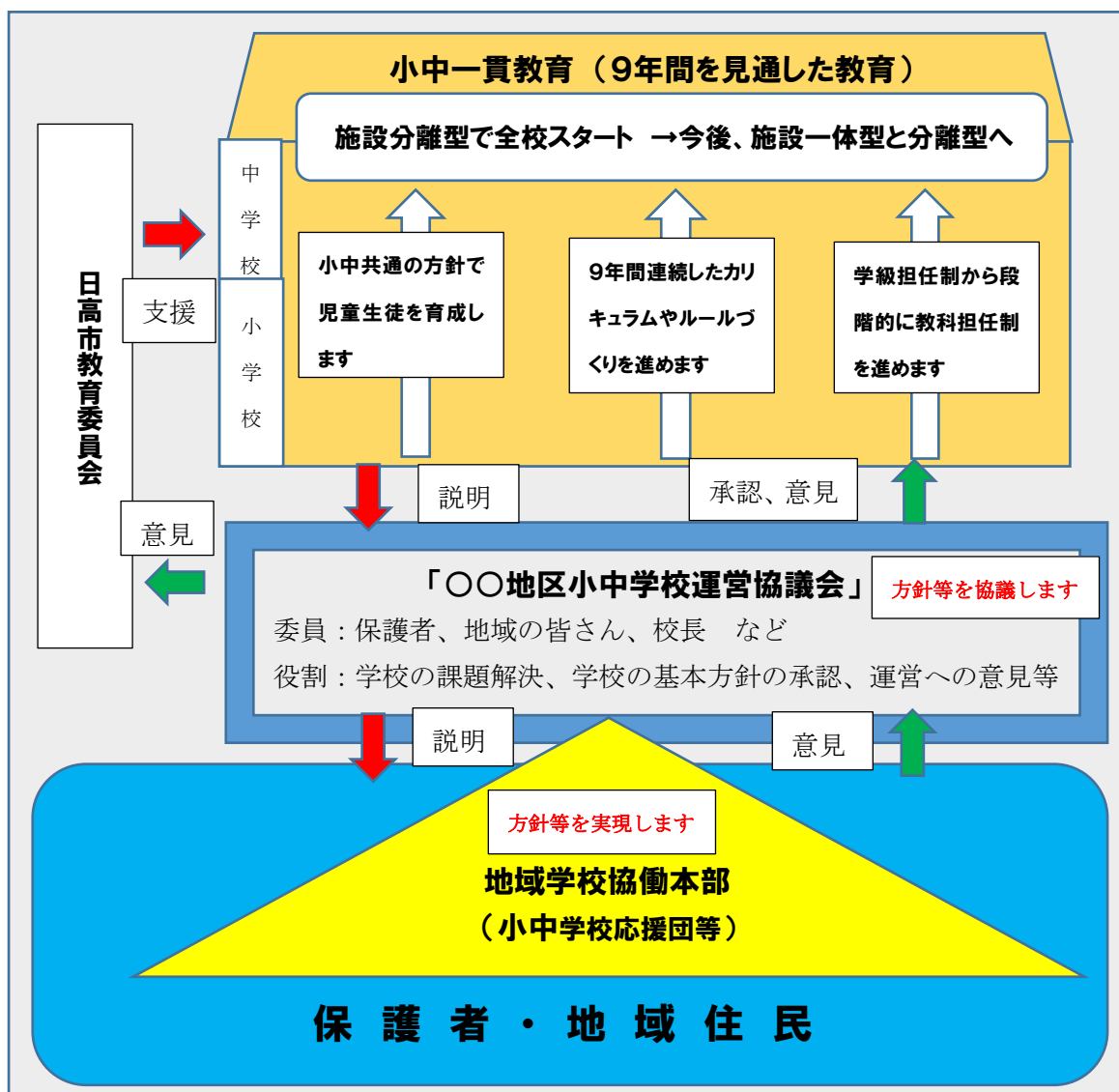
日高市では、令和2年度(2020年)から、

## 「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」

を、市内全地区でスタートします。

### ★ 新制度により、こんな効果が期待できます★

- 小学校から中学校への段差を無くし、児童生徒が9年間安心して学び続けることで、市の課題である「**学力を向上させる**」ことができます。
- 各地区に小中1校ずつあるという市の特色を生かして、児童生徒間交流を積極的に進めることで、小学生は中学生を敬い、中学生は小学生を慕う等、「**互いを思いやる心**」を育てることができます。
- 保護者、地域の方々が今まで以上に児童生徒に関わることで、学校を中心として地域全体がまとまり、より一層「**地域が元気**」になります。



## 小中一貫教育 Q&A



### ○小中一貫教育とは？

→小学校と中学校を併せて9年間の学習を連続させて、小中学校の教員が協力して児童生徒の教育にあたる制度です。

### ○小中一貫校と小中一貫教育との違いは？ 今後の予定は？

→小中一貫教育とは、小中学校が「共通の方針」を立て、「9年間連続したカリキュラム」に基づいた教育を言います。令和2年度は現在の小中学校のまま（統合はなし）で小中一貫教育をスタートし、同じ敷地内で児童生徒が学ぶ小中一貫校の開設は、その後の児童生徒数の推移等を見ながら計画的に進めていきます。

### ○小学校から中学校への段差をなくす(減らす)具体的な方法は？

→小中9年間を、例えば「4年・3年・2年」の区切りを設けたり、小学校高学年から小中教員による教科担任制（相互乗り入れ授業）を段階的に進めたりします。

### ○コミュニティ・スクールを併せて行う理由は？

→小中一貫教育は小と中の教育を連続させるもので、これまで小と中に分散していた地域力（支援）を、コミュニティ・スクールにより統合させるためです。

## コミュニティ・スクール Q&A



### ○コミュニティ・スクールとは？

→学校と保護者、地域住民で構成される「学校運営協議会を設置した学校」を指し、これまでの学校中心から、学校・家庭・地域が主体的に児童生徒を育てる制度です。

### ○めざすコミュニティ・スクールの姿は？

→市では、学校・家庭・地域が「めざす15歳像」を共有しながら、三者が知恵と力を結集して子供を育成することで、地域全体が元気になることをめざしています。

### ○学校運営協議会の役割は？

→本協議会は、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動に意見を述べたりして、学校の様々な課題解決に参画します。

### ○会議内容は知らされるの？

→会議内容は地域の皆様に知っていただく必要があることから、会議終了後に会議録として各学校のホームページで公開します。

何か不明な点等  
ありましたら、  
教育委員会学校  
教育課教育指導  
幹へお問い合わせ  
ください。